

FUJIEDA ROTARY CLUB



# 藤枝ロータリークラブ会報

会長:玉木 潤一郎 副会長:江崎 晴城 幹事:鈴木 邦昭 副幹事:平野 純也・山田 賀昭

**第2326回** 通常例会/小杉苑

2020-2021年度 R1テーマ



ロータリーは機会の扉を開く

## ■ 会長報告

玉木 潤一郎君

冠講座が進行しています。



担当の方は 100 分の講義で大変ですが、本人にとっても貴重な経験になると思います。

また今期、力を入れている広報活動で静岡ビジネスレポートに冠講座の記事が掲載されました。

教習所に通って大型二輪の免許を取りました。その前にハーレーを購入しており、免許取得と同時に乗り始めています。

実はコロナで米国の工場は操業を停止しており、私のバイクはギリギリ確保が間に合ってラッキーでした。

有名な話ですか、ハーレーは一台ずつダンボールに入れられて船便で日本に届きます。

納車時には百科事典のような分厚いカスタムカタログが渡され、そこからオーナーの好みでドレスアップやチューンナップを重ねて自分のハーレーを作っていきます。

私はまだ今は乗るだけで楽しいですが、少しずついじっていかうと思います。

また、キャンプやバイク女子が流行っていて、私も Twitter やインスタであつという間に会ったこともないバイク仲間が増えました。

例会の様子も、広報の一環で菅原くんが SNS アップしてくれています。

ちなみに私はソロツーリングに徹するつもりですので、ツーリング同好会は作りません。

## ■ 理事会報告

鈴木 邦昭君

- ・指名委員会報告について、次年度役員が承認されました。
- ・12 月プログラムが承認されました。
- ・12 月 2 日クラブ年次総会について、例会進行内容が承認されました。
- ・12 月 16 日クリスマス家族夜間例会について、コロナ感染予防対策を踏まえた、第 2 案のクリスマス例会企画も検討しています。現状案を FAX 案内させていただき、状況を見て判断する事で承認されました。
- ・1 月 13 日新年賀詞合同夜間例会について、日時、場所について承認されました。南クラブへ計画案は提出済みです。内容については 12 月へ継続されました。
- ・次期地区委員委嘱承認について、村松英昭君の次期地区奉仕委員会委員（職業奉仕担当）副委員長の委嘱が承認されました。
- ・その他、次年度「新クラブ結成推進委員会」拡大委員推薦のお願いについて、大塚高弘君を推薦する事となりました。

## ■ 幹事報告

鈴木 邦昭君

- ・国際ロータリー第 2620 地区 HP より  
ガバナー月信 2020. 11 No. 5 をご案内いたします。
- ・ガバナー事務局より  
ロータリー・リーダーシップ研修会 オンライン RLI PART III 開催のご案内が届きました。
- ・第 2700 地区古賀ガバナーより  
2020 年 7 月福岡豪雨災害ご支援の御礼がとどきました。
- ・東日観光(株)より  
2021 年国際ロータリー年次大会(台北大会)参加旅行募集案内送付のご案内が届きました。

## ■ 出席報告

仲田 廣志君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
36/40 90.00%	37/40 92.50%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

大杉君 鈴木舜君 仲田晃君 柳原君

## ■ スマイルBOX

仲田 廣志君

- ・誕生日祝いの方ありがとうございました。  
47才になります。車業界は環境の観点から著しく変化していきますので、それに対応できる様に、これからも身体を大切に過ごして行きたいと思います。これからもご指導宜しくお願いします。 河森 栄介君

スマイル累計額 93 , 000円

## ■ ロータリーの友紹介

池ノ谷 敏正君

『ロータリーの友 11月号紹介』



11月号の紹介をさせていただきます。今月は「ロータリー財団月間」です。まず、横組みの7ページから「グローバル補助金を知ろう」と題された特集が組まれています。8ページには、グローバル補助金を使用した事業を行ったことのある小牧ロータリークラブの国際奉仕委員長の、経験から言える3つのポイントが紹介されています。また、10ページからは支援活動の時系列と経験談も紹介されています。グローバル補助金を使用した事業は、未だ経験のない我がクラブですが、国際奉仕委員会の皆様、これらの記事を参考にいただき、前向きに検討してみたいかがでしょうか。

続いて18ページから27ページには、「どうなった？例会」と題された全国のクラブよりのコロナ禍での例会についてのアンケート結果の報告が載っています。

コロナに対する考え方、対応など、会員ひとりひとり異なったものであり、それを取りまとめた方向性を決めていく各クラブの会長幹事のご苦勞は、計り知れないものがあるかと思えます。そんな中で、全国のクラブがどう対応し、どう運営していたのかが、垣間見ることができる記事となっています。

これから先の例会運営の参考となるべきものも含まれているかと思えますので、特に会長・幹事並びに理事の皆さんに読んでいただけたらと思いご紹介いたしました。

そして、32ページは毎度おなじみ、「大人の着こなし図鑑」です。

今月のテーマは、ジャケパン。スーツとは違ったリラックス感の出るスタイルですが、上下が異なる生地、色、柄となりますので、その組み合わせが難しく、組み合わせを勉強したいと思います。

文末のQRコードを読み取り、サイトへ行きますと、もう少し詳しい内容を読むことができますので、興味のある方はスマホを使ってご覧ください。

続いて、縦組みの9ページをご覧ください。

「この人を訪ねて」と題された毎号各地区のロータリアンにスポットを当てた記事が掲載されています。今月号は、島田ロータリークラブの河村隆夫会員です。人物紹介がメインの記事ではありますが、河村会員の人となりが見えてくる記事のように思えました。

近い将来、我がクラブの大先輩がこのコーナーに登場されることを想像しながら読んでみるのも面白いかもしれません。

そして13ページの「卓話の泉」。

今回の「色彩の効果」と題された記事は、色が我々に及ぼす影響について語られています。どんな色がどのような効果をもたらすか、個人的にはとても興味深く、もっといろいろ知りたくなりました。

寝不足気味の私は、寝具を紫に変えてみようかと思いました。

続いて22ページ「ロータリーアットワーク」。島田ロータリークラブの活動報告が掲載されています。こちらも紹介させていただきます。

最後に横組み34ページをご覧ください。電子版の「ロータリー友」の閲覧方法が紹介されています。スマホやタブレットでアクセスすれば、いつでも「ロータリーの友」をご覧いただけます。是非ご利用ください。

## ■ 地区委員卓話

地区職業奉仕委員会  
副委員長  
職業奉仕担当  
村松 英昭君



職業奉仕は非常に理解しにくいと思います。私もこのような立場になるまでよくわかりませんでした。

私が藤枝ロータリークラブに入会したのは36年ほど前でした。当時先輩のロータリアンに職業奉仕とはなんですかと伺ったところ、自分の職業を一生懸命やればいいんだよとの返事でした。その後曖昧のまますごしてきました。でもいつもなんだろうなと疑問に思ってきました。

ロータリーの創立者であるポールハリスはシカゴに出てきたが、親しい仲間がいないため3人でロータリークラブを考え、1905年にシカゴロータリークラブをつくりました。最初は各々の職業の互惠関係であった。そのため、あつという間に仲間が増え仕事が増え、ロータリーに入会しているものは豊かになっていきました。当初のシカゴクラブには奉仕の概念はなく、事業の繁栄と親睦を目的にそうりつされました。そのため、入会していないものから批判を受けました。そのような中で1908年にシカゴクラブに入会したアーサーフレデリックシェルドンは互惠取引を禁止する代わりに、当時誰もが考えつかなかった奉仕理念をロータリーに提唱しました。ロータリーがこれを採択して、物質的相互扶助から決別したことによって、その後華々しい発展を遂げることになったのです。

シェルドンの職業奉仕理念は継続的な事業の発展を得るためには、自分のもうけを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図をもって事業を営む、さらに良好な労働環境を提供するのは資本家の責務であると考え、資本家が利益を独占するのではなく、従業員や取引に関係する人たちと適正に再分配

することが継続的に利益を得る方法だと考えたのです。

すなわち、事業主を取り巻くすべての人たちのおかげで事業が成り立っていることを考えるならば、得た利益を、事業主が一人占めするのではなく、事業に関係する人たちと適正にシェアをしながら、事業を進めていけば、必ずその事業は発展していくはずでです。そのような経営方針を採用して事業が発展していく様を、自らの事業所をサンプルとして実証すれば、同業者の人たちは、その事業態度をまねるに違いありません。そうすれば、業界全体職業倫理があがっていくというのが、He profits most who server best（最もよく奉仕する者、最も多く報いられる）という考えです。



## ★ 冠講座

<開講日>

令和2年11月10日(火)

<講義内容>

「土地家屋調査士の仕事と  
開業に至るまで」

<担当者>

土地家屋調査士

増田貴行事務所 代表 増田 貴行君  
令和2年11月10日(火) 13:20より  
藤枝ロータリークラブが担当する静岡産業大学冠講座の4回目が開催されました。本日の講師は土地家屋調査士の増田貴行氏です。テーマは『土地家屋調査士の仕事と開業に至るまで』です。



増田さんの社会人生活は、大学卒業後に就職した川田建設で始まりました。1年ごとに日本列島の大規模な道路の建設現場を担当されました。現場監督として経験を積んで8年、ご実家の都合もあり静岡に帰り、土地家屋調査士事務所に勤めながら、調査士免許の取得を目指しました。1年後に土地家屋調査士の試験に受かり、実務経験を積むために数年間修行したのち、独立開業を果たしました。

一通り経歴を話したあと、土地を測量する歴史について触れました。

土地を測る歴史は、大化の改新までさかのぼることが出来ます。太閤検地・地租改正などを経て、測量は正確度を増すこととなります。明治時代に土地を登記して売買する仕組みが出来上がりました。測量の歴史は、過酷な労働に近かったことも資料に基づき説明されました。

ここで、増田さんは教室の面積を測ってみましょうと、機材を使って測量の実際を見せてくれました。

最新の機械は、機材が500万円、ソフトが80万円もするものです。測量というと、一人がレンズを眺め、もう一人が竿を持っている姿を想像しますが、最新の機材では一人で測量が出来てしまいます。



今後は、衛星を使った測量に代わっていくことが予想されるとのことです。

最後に、自分の性格にあっているという、土地家屋調査士の仕事の楽しさを語って講義が終わりました。(村松繁君)



ソングリーダー…… 河森 栄介君  
ソング…… それでこそロータリー

#### 四つのテスト



《11月～12月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
9	10	11	12	13
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
16	17	18	19	20
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
23	24	25	26	27
閉局	閉局	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00
30	12/1	2	3	4
閉局	10:00～ 16:00	09:30～ 17:00	10:00～ 16:00	閉局
7	8	9	10	11
閉局	10:00～ 16:00	09:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
14	15	16	17	18
10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	09:30～ 16:00	閉局	閉局
21	22	23	24	25
閉局	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局	10:00～ 16:00
28	29	30	31	
閉局	閉局	閉局	閉局	

※ 開局日時は変更になる場合があります。  
最新の情報は、ホームページでご確認ください。

事務局  
〒426-0037  
藤枝市青木 1-11-10 アクセス 21  
TEL054-647-2300 FAX054-647-2040  
E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

(担当/村松繁君)